

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

- (1) 固定資産の減価償却の方法
定額法によっている。
- (2) 引当金の計上基準
退職給付引当金・・・職員に対する退職金の支給に備えるため、期末における要支給額を計上している。
- (3) 消費税等の会計処理
税込方式によっている。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
基本財産引当資産	20,000,000	0	0	20,000,000
小 計	20,000,000	0	0	20,000,000
特定資産				
学会賞基金引当資産	13,300,000	0	0	13,300,000
新興再興感染症事業引当資産	70,950,000	0	0	70,950,000
退職給付引当資産	19,198,927	1,097,129	0	20,296,056
国際学術交流引当資産	27,350,000	0	0	27,350,000
専門医事業引当資産	30,000,000	0	0	30,000,000
英文誌発行引当資産	17,814,271	0	0	17,814,271
学術講演会基金引当資産	85,000,000	0	0	85,000,000
小 計	263,613,198	1,097,129	0	264,710,327
合 計	283,613,198	1,097,129	0	284,710,327

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財 産からの充当額)	(うち一般正味財 産からの充当額)	(うち負債に対応 する額)
基本財産				
基本財産引当資産	20,000,000	-	(20,000,000)	-
小 計	20,000,000	0	(20,000,000)	0
特定資産				
学会賞基金引当資産	13,300,000	-	(13,300,000)	-
新興再興感染症事業引当資産	70,950,000	-	(70,950,000)	-
退職給付引当資産	20,296,056	-	-	(20,296,056)
国際学術交流引当資産	27,350,000	-	(27,350,000)	-
専門医事業引当資産	30,000,000	-	(30,000,000)	-
英文誌発行引当資産	17,814,271	-	(17,814,271)	-
学術講演会基金引当資産	85,000,000	-	(85,000,000)	-
小 計	264,710,327	0	(244,414,271)	(20,296,056)
合 計	284,710,327	0	(264,414,271)	(20,296,056)

4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
器具備品	2,044,318	1,515,756	528,562
ソフトウェア	19,789,255	9,234,988	10,554,267
合 計	21,833,573	10,750,744	11,082,829